

2011年9月8日

相談室から

守屋克明

相談室から。

毎朝10時。シャッターを開けるといろいろなおじさん達がやって来ます。アパートやドヤに住んでいる人、公園やアーケード、ガード下などで寝泊りしているひと達。年齢は主に中年以上で、ほとんどが男性です。最近来るようになった人達、少なくなったけれど以前からの人もいます。そういう中の一人に通称Gちゃんがあります。

丸い顔に大きい眼鏡をかけて、茫洋とした風貌です。長い間、水曜日の炊き出しボランティアをやってくれましたが、一時体調を悪くして今はやめています。カメラが大好きで何台も持っているらしく、話出すといろいろ詳しくて大変です。

時々トンチンカンな事を言ってみんなから茶化されますが、いつも「ワッハッハ」と笑っておしまい、ついぞ怒った顔を見せたことがないです。そのGちゃんが昨日突然に首から三角巾で右腕を吊るし、顔は右目か首にかけて赤黒いアザを作って現れました。びっくりして、どうした？と聞いても、なぜそうってしまったのかちゃんと説明が出来ません。

救急車で病院に運ばれて治療してもらったのはたしかなのですが、前後のことがはっきりしなく、それでも本人はいたって朗らかな様子で、お茶を飲んで、タバコを吸って笑って帰って行きました。大したことなく、元気になってくれればいいなと思います。